

障がいのある子ども・若者の性教育 ～もっと楽しく もっと自由に 性を語ろう！～

特定非営利活動法人 子ども&まちネット

〒464-0076 愛知県名古屋市千種区豊年町 3-18 UR 都通団地 1 号棟 1 階 111

助成事業の概要

発達に障がいのある子ども・若者は、思春期の身体や心の変化に戸惑い、不安や対人関係のトラブルにつながることもある一方で、性について学ぶ機会が十分に整っていない現状がある。そこで、日常的に関わる保護者や支援者、教員等が「性と生」に関する正しい知識と支援方法を学び、当事者の思いや悩みに寄り添った対応ができるようになることを目的に研修を実施。

2025 年 8 月～11 月にオンラインで基礎研修(全 3 回)を開催し、医療・教育・福祉の視点から専門家らが講義を行い、実践者からの取り組み事例も紹介された。さらに 2026 年 2 月に名古屋市内で実践交流・事例検討会(全 2 日)を実施し、事例共有やグループワーク、模擬授業づくりを通して具体的な支援方法を検討した。本事業を進めるにあたり、研修内容を検討するプロジェクト委員会をオンラインで計 3 回開催した。

事業の成果

[1] 日時 [2] テーマ [3] 講師 [4] 申込数
[5] 参加者数

基礎研修(1) [1]8 月 31 日(日) 10:30～12:30 [2]「障がいのある子ども・若者の包括的セクシュアリティ教育—特別支援教育の現場から—」[3] 伊藤修毅(日本福祉大学教育・心理学部教授)、(実践報告)鉄井史人(特別支援学校教諭)
[4]54 名 [5]51 名

基礎研修(2) [1]9 月 21 日(日) 10:00～12:30 [2]「社会福祉現場における性と生の学習と支援の取り組み」[3] 木全和己(日本福祉大学社会福祉学部教授)、(実践報告)寺部佳代子(社会福祉士、相談支援専門員) [4]57 名 [5]54 名

基礎研修(3) [1]10 月 19 日(日) 10:00～12:00 [2]「基礎知識を学び直し—医療現場から見る「性」の現状と課題」[3] 伊藤加奈子(ココカラウイメンズクリニック院長) [4]53 名 [5]40 名

実践研修(2 日間) [1]2026 年 2 月 21 日(土)、22 日(日) 10:00～16:00 [2]「実際の支援の現場(事業所学校等)での実践をつくってみましょう」[3] (アドバイザー) 木全和己(同)、(実践報告)寺部佳代子(同)、河村あゆみ(東海学院大学非常勤講師) [4]36 名 [5]26 名

(成果) 障がいのある子どもや若者に関わる支援者・教員・保護者らが、本テーマについて改めて基礎から学ぶことで、その必要性和重要性を認識し、子どもや若者への適切な関わり方を身につけることができた。対面で開催した実践研修においては、模擬授業づくりを通じて、実際の支援現場で行う支援について互いに意見を出し合い、実践に繋がる方策を考えることができた。また、参加したもの同士の交流が深まり、研修後には参加者によるグループ LINE が作られた。現在もその場を通して、支援現場での具体的な悩みや対応方

法、実践事例などの情報共有や相談が日常的に行われている。事業所や立場を越えたゆるやかなネットワークが形成されたことで、地域を超えた支援者同士が継続的に支え合い、障がいのある子ども・若者の性と生の支援を共に考え実践しながらスキルアップを目指す基盤が生まれている。

ある子どもや若者の性と生の学びを支える環境づくりを目指す。

成果の広報・公表

基礎研修、実践研修の開催内容を、当法人が発行しているニューズレターに開催結果と参加者からのコメント等を掲載し、当法人会員はもとより、特別支援に関わる支援者・教員、保護者等に配布を予定。名古屋市内特別支援学校などに配布を予定。また、次年度には当法人 Web サイトへニューズレターの掲載を予定しており、公開した際には SNS（Facebook、Instagram）等にて広く拡散する予定。

今後の展開

本事業で得られた学びや実践事例を活かし、今後は研修内容の充実と対象の拡大を図っていく。基礎研修や実践交流の継続開催に加え、現場で活用できる教材や模擬授業プログラムを整理し、支援現場で再現可能な形で共有していく。また、福祉・教育・医療の分野を横断した連携を強化し、地域の支援者が継続的に学び合える機会を広げることで、障がいのある子どもや若者が安心して思春期を迎えられる支援体制づくりを進めていく。さらに、研修を通して生まれた支援者同士のつながりを基盤に、地域における継続的な学びと情報共有の仕組みづくりを推進する。実践交流や事例検討の機会を定期的に設け、オンラインも活用しながら多様な地域・分野の支援者が参加できる環境を整え、支援者同士のゆるやかなネットワークを発展させていく。これにより、地域全体で障がいの